

建交労 かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

東神TSで4月2日 トラック宣伝行動実施! 神奈川県南支部



神奈川県南支部では、毎年、神奈川県トラック協会の協力を得て神奈川県大和市内にある東神トラックステーション内での行動をおこなっています。

今年も神ト協からウエツトテイッシュユやBOXテイッシュユ、クリアフアイルなど宣伝グッズの提供を受け、東神TSでの宣伝・アンケート活動を午前10時から12時近くまで実施しました。

ひろい駐車スペースを持つ東神TSには、北海道から九州まで全国各地のナンバープレート

トを付けた大型車・中型車などのトラックドライバーが、休憩・休息やコンビニ・トイレの利用などで頻繁に立ち寄りま

宣伝・アンケート活動は、そうしたドライバーが対応してくれそうない絶妙なタイミングを見計らって声をかけます。

今回の行動では昨年のトラックの日の行動で取り組んだ新型コロナ関連アンケートも実施しました。

6名の少人数の行動でしたが声をかけたドライバーの約半数が快

くアンケートに応えてくれて20名分を集約しました。

また、準備した宣伝用のグッズは40セットを配布することができました。

「トラックステーション」TSって何？

トラックステーションは、トラックドライバーが、休憩や仮眠、入浴、食事をするための施設です。

ドライバーに向けて、業務連絡用の通信設備や、交通・気象情報の提供もしています。

長距離輸送を行うトラックが、安全に運行できるようにサポートすることを目的として、公益社団法人・全日本トラック協会・施設事業部により管理、運営されています。

一般のお客さんも利用可能ですが、緑ナンバー(事業用)のトラックが優先的に利用できる仕組みです。

4月15日まで延長された2020年度分の確定申告期間が終了しました。

今年は延長された分、多くの仲間の申告相談に取り組み、ダンブ32名、マイシイ・軽貨物・その他で53名の、合わせて85名と過去最大の申告相談数となりました。

今年の相談の特徴点はなんとと言っても通年で消費税が10%となつてい

るため、消費税額が計算される負担が重すぎるとい声が多く聞かれたことでした。

コロナ禍で仕事も不安定な中、消費税を下げる、または凍結することが需要対策として政府が行うべきではないかと実感しています。

また昨年に持続化給付金や、家賃支援金を受給した仲間が、売り上げに計算されたために増税になったことも特徴点としてあげられます。

コロナの影響で売上げが下がったために給付金を受けたわけですが、経費ゼロの給付金100万円に対する所得税は大変重く感じられています。

今後はダンブ支部としてインボイス対策や、青色申告・65万円控除を希望する

過去最大の85名が 申告相談に

消費税 10%で 100万円の納税額

希望する

仲間の期待にこたえられるように加えて、税務調査の際には安心して計算ができるように税理士の連携を検討していきたいと考えています。



メイシヨクアソシエイツ 地位保全申し立て事件

仮処分審尋始まる

明治乳業の製品を配達する(株)メイシヨクアソシエイツで働く仲間が、3月の第2回目の調停では具体的な個人情

報の取り扱いについて、会社側から注意・警告があったかどうか聞かれています。

第3回目は4月22日の予定です。

分会は、働きやすく、明るく明瞭な職場環境の要求実現に向けて活動してきた分会長を狙い撃ちした不当解雇を撤回させ、労働組合敵視政策を許さない取り組みを進めるとともに、一刻も早い勝利解決に向け奮闘しています。

2月に行われた一回目の調停では案内状の送付範囲について聞かれ、保全(賃金の仮払い)の必要について、後日、

川崎労連などによって立ち上げられた食糧支援・なんでも相談実行委員会は、4月4日(日)午後から川崎区内にある東田公園でコロナ緊急食糧支援・なんでも相談会にとりくみました。

この行動には50名を超える支援者が結集しました。

建交労神奈川県南支部からは大島書記長、金崎書記次長と赤羽特別執行委員の3名が参加しました。

心配された雨も降らず、事前に行った大量の全戸配布ピラなどの宣伝効果もあってか、会場の東田公園には13時のスタート前から人が集まりはじめたため、予定を早めて食料を求め人々や相談者の受付を開始しました。

コロナ禍でパートやアルバイトなどの仕事激減、あるいは解雇されるなどして、困窮する若者や学生・シングルマザーなどが急増

生活困窮者への対策は無策の菅政権

コロナ緊急食糧支援

なんでも相談会実施!

川崎で初の取り組みに県南支部も奮闘

しています。

しかし、菅政権はコロナへの有効な対策がないまま、オリンピック・パラリンピックの開催に固執し、困窮者への対策などはまったく無策の状態です。

そのなかで、無料の食糧支援や生活相談活動が全国各地で取り組みられ、多くの人たちが救済されており、さらなる取り組みの充実が期待されています。

また、弁護士や議員、労働組合に相談する人も多く15時までの2時間余の取り組みで95名を受け付けて食糧を渡すことができました。

川崎では初めての試みでしたが弁当100

個をはじめ、カップ麺・缶詰・野菜・お米など大量に準備した食料はつぎつぎに来場者に手渡され、カップ麺などは何度か買い足しに走る状況でした。

また、弁護士や議員、労働組合に相談する人も多く15時までの2時間余の取り組みで95名を受け付けて食糧を渡すことができました。

2021春闘勝利・建交労神奈川県本部

5・20統一行動

